

令和4年度 学校評価の結果と状況分析

1 アンケートの回収状況

	対象	対象者数	回答数				回答率
			小	中	高	計	
1	教員	35	10/10	8/8	17/17	35/35	100%
2	保護者	38	9/11	7/10	14/17	30/38	79%
3	学校評議員	5	5/5				100%
4	ばんだい荘職員	8	8/8				100%
5	中学部生徒(通常)	12	12/12				100%
6	高等部生徒(通常)	16	15/16				93%

※保護者は世帯数を表す。令和4年11月1日現在在籍児童生徒保護者を対象として実施

2 評価結果と学校経営・運営ビジョンにおける達成概況

(1) 評価結果

ビジョンの内容	教員	保護者	ば荘	評議員	状況
楽しく登校できる学校	4	4	3	4	○
相手に伝わる返事のできる児童生徒	4	4	4	4	◎
学習活動の企画・運営に挑戦する態度	4	4	4	4	◎
自ら考えて行動できる力	4	4	4	4	◎
学びの姿をホームページで発信	4	3	4	4	○
ICTの活用	4	3	4	4	○
公共交通機関の利用・言葉遣いの育成	4	3	4	3	○
実態や成長に合わせた進路学習と進路に関する情報提供	4	4	4	4	◎
「自分手帳」の活用・食習慣や運動習慣・生活習慣に関心	4	3	4	4	○
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底	4	4	4	4	◎
「分かった。できた。」を実感できる授業づくり	4	4	4	4	◎
地域の方々の理解と協力を得て、教育活動の充実	4	3	4	4	○
はあとふるタイムや校内外の教育相談の充実	4	4	4	4	◎

※ 教員、保護者の評定は、3学部の評価を合わせた割合として評定をしている。

※ 評定は、以下の基準で行う。

評定	評価基準
4	「A」と「B」を合わせて90%以上で、「C」と「D」を合わせて10%以下の項目がある場合
3	「A」と「B」を合わせて70%以上であるが、「C」と「D」を合わせて30%以下の項目がある場合
2	① 「A」と「B」を合わせて40%以下であり、「C」と「D」を合わせて60%以上の項目がある場合 ② 「C」と「D」のいずれかが40%を越える項目がある場合
1	「C」と「D」を合わせて80%以上の項目がある場合

<ビジョンの達成状況>

「達成している」 → ◎	評価が対象区分において、すべて「4」である場合
「概ね達成している」 → ○	評価が対象区分において、「4」と「3」である場合
「改善を要する」 → △	評価が対象区分において、「2」がある場合
「問題がある」 → ×	評価が対象区分において、「1」がある場合

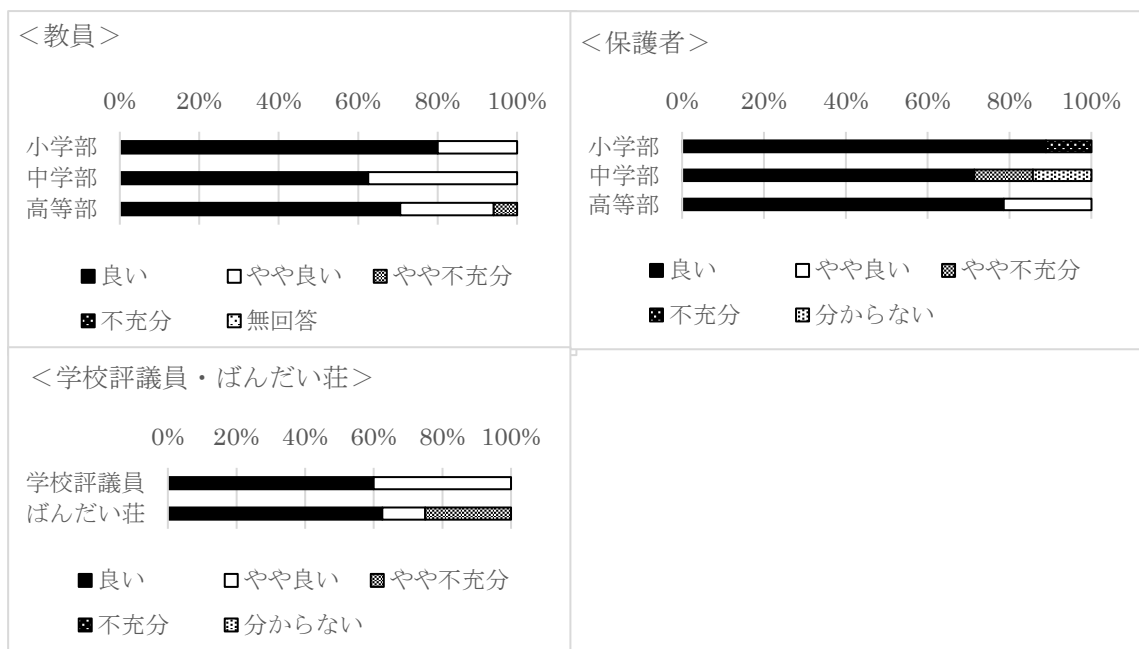
(2) 概況

- ① 全ての評価項目において、教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員ともに概ね評価ポイントが高いことから、学校の取り組みとして、学校経営・運営ビジョンが達成されていると評価されたと言える。
- ② 教員の評価は、全ての項目において評価ポイントは高い。
- ③ 保護者の評価は、相手に伝わる返事のできる児童生徒、自ら考えて行動できる力、「分かった。できた。」を実感できる授業づくりに関する評価ポイントが高く、学校生活及び学習の取り組みについては概ね満足を得られている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底でも評価ポイントが高く、感染症対策について概ね満足を得られている。一方で、「学びの姿をホームページで発信」、「ICTの活用」、「公共交通機関の利用・言葉遣いの育成」、「自分手帳」の活用・食習慣や運動習慣・生活習慣に関心、「地域の方々の理解と協力を得て、教育活動の充実」については、比較的评价が低い傾向がうかがえる。
- ④ 学校評議員の評価は、概ね評価ポイントが高い。しかし、その中で「公共交通機関の利用・言葉遣いの育成」について、「やや不十分」との意見があり、今後も継続して取り組む必要がある。
- ⑤ ばんだい荘職員の評価では、概ね高い評価を得ており、本校の教育実践の理解とお互いに協力、連携しながら児童生徒の指導、支援に当たっていると実感されていることが推察される。一方で「楽しく登校できる学校」、「実態や成長に合わせた進路学習と進路に関する情報提供」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底」において「やや不十分」との意見があった。

3 各項目における評価結果と評価者間の比較・分析

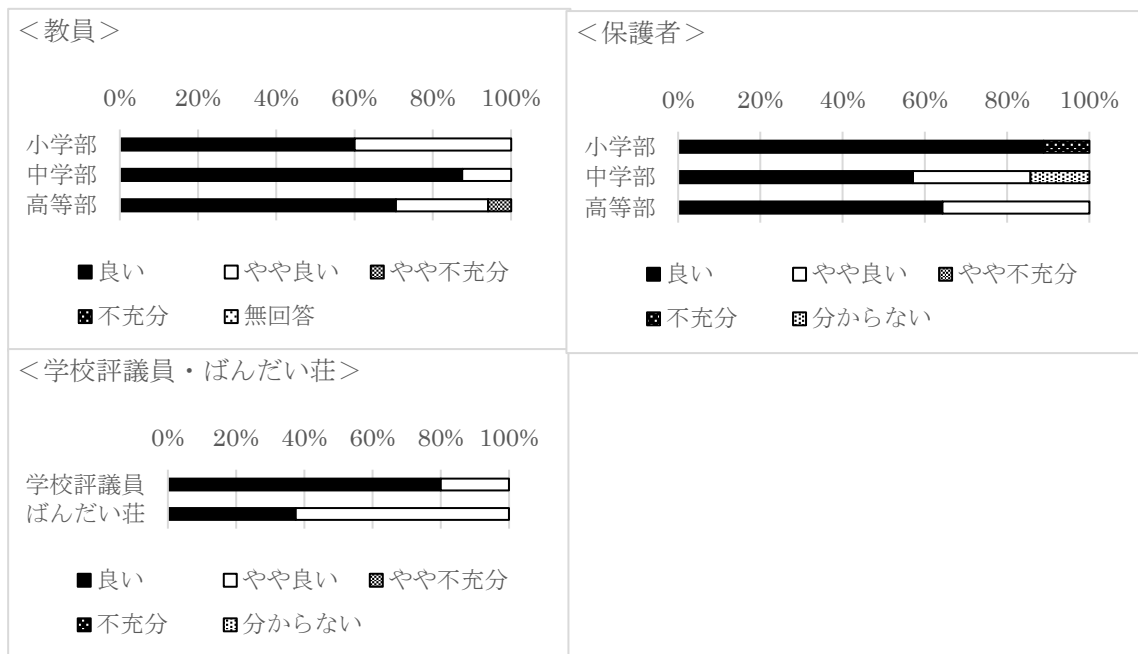
注：各回答間の比較において「多い」、「少ない」の表現で分析を行っているが、実数の比較ではなく傾向の比較として解釈すること。

(1) 楽しく登校できる学校



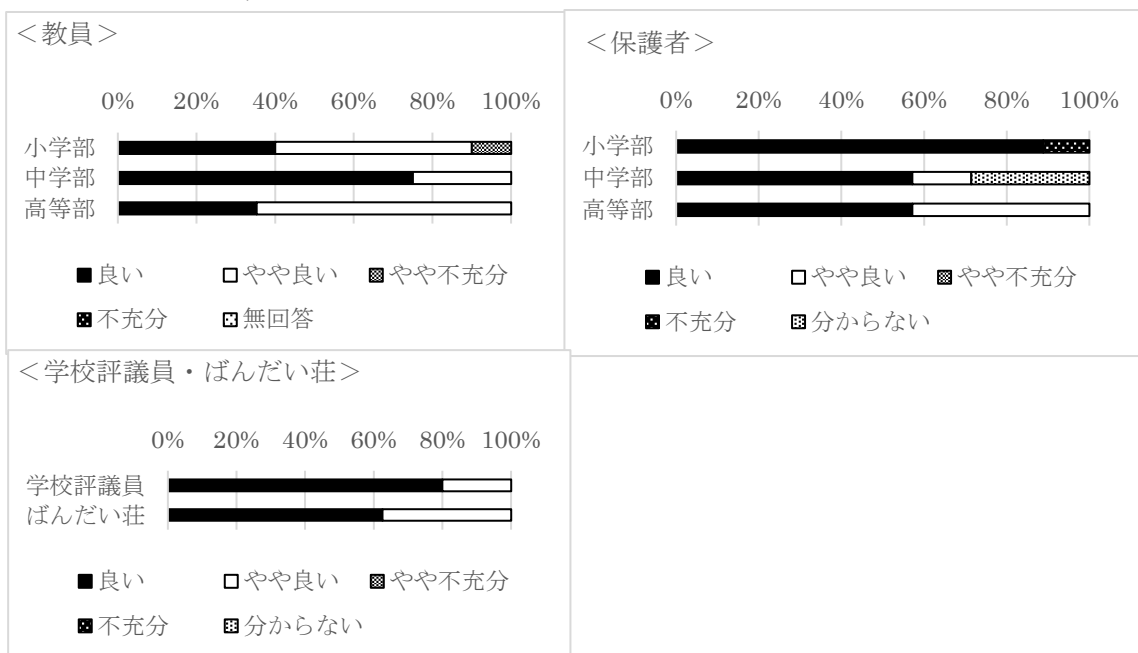
教員、保護者、学校評議員においては、いずれも概ね「良い」、「やや良い」で評価している。児童生徒が概ね楽しみを感じながら登校していると評価している。しかし、保護者において「不十分」、「やや不十分」ばんだい荘職員において「やや不十分」という回答が一部あった。保護者においては「友達との関係に悩んでいる。」、ばんだい荘職員においては、2割が「やや不十分」と評価しており、「教員との関係や発言に悩んでいる子がいる。」「中には不安や悩みをもっている子もいる。」という意見があった。児童生徒は楽しんで登校している児童生徒がいる反面、中には様々な思いを抱えて登校している児童生徒もいることを示唆していると考えられる。その意見を真しに受け止め、教員全員が自らの行動や言動を振り返り、児童生徒との関係づくりをさらに深め、よりよい学級集団づくりをしていくよい機会としたい。

(2) 相手に伝わる返事のできる児童生徒



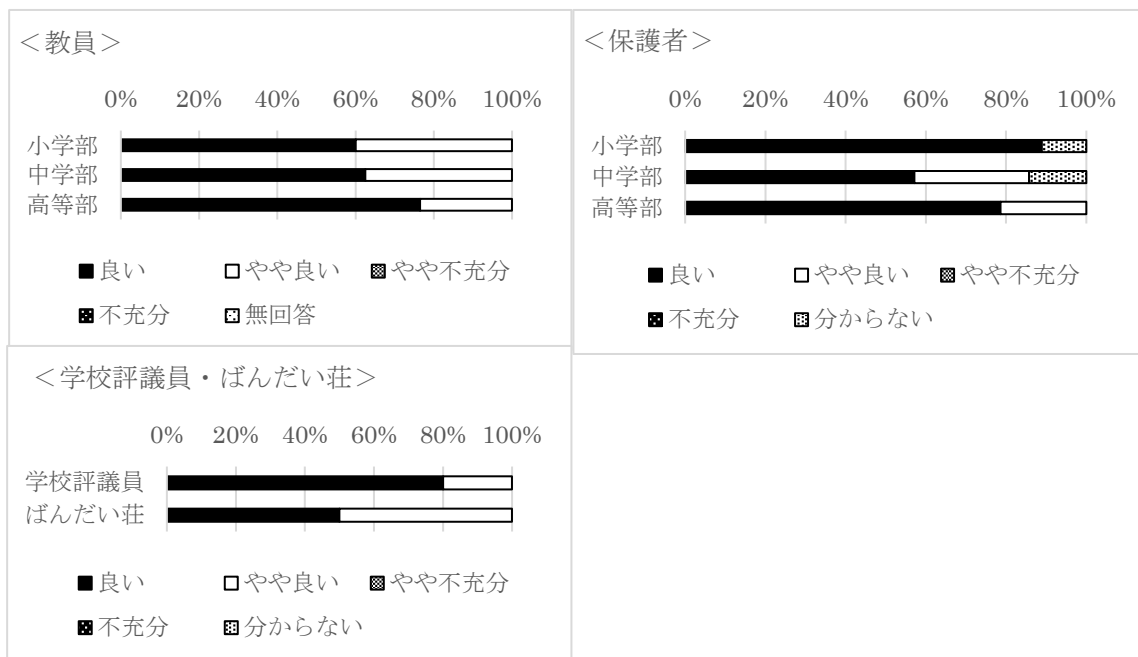
教員、学校評議員、ばんだい荘ともに、概ね「良い」「やや良い」という評価であった。教員からは、自由記述として児童生徒があいさつすることが以前より少なくなったので、周知して広げていきたいという意見が出ていた。今後の指導の参考にしていきたい。保護者に「不十分」「分からない」という評価が見られたが、ほぼ「良い」、「やや良い」で回答しており、概ね児童生徒が相手に伝わる返事のできる力を育成することができたと評価する。

(3) 学習活動の企画・運営に挑戦する態度



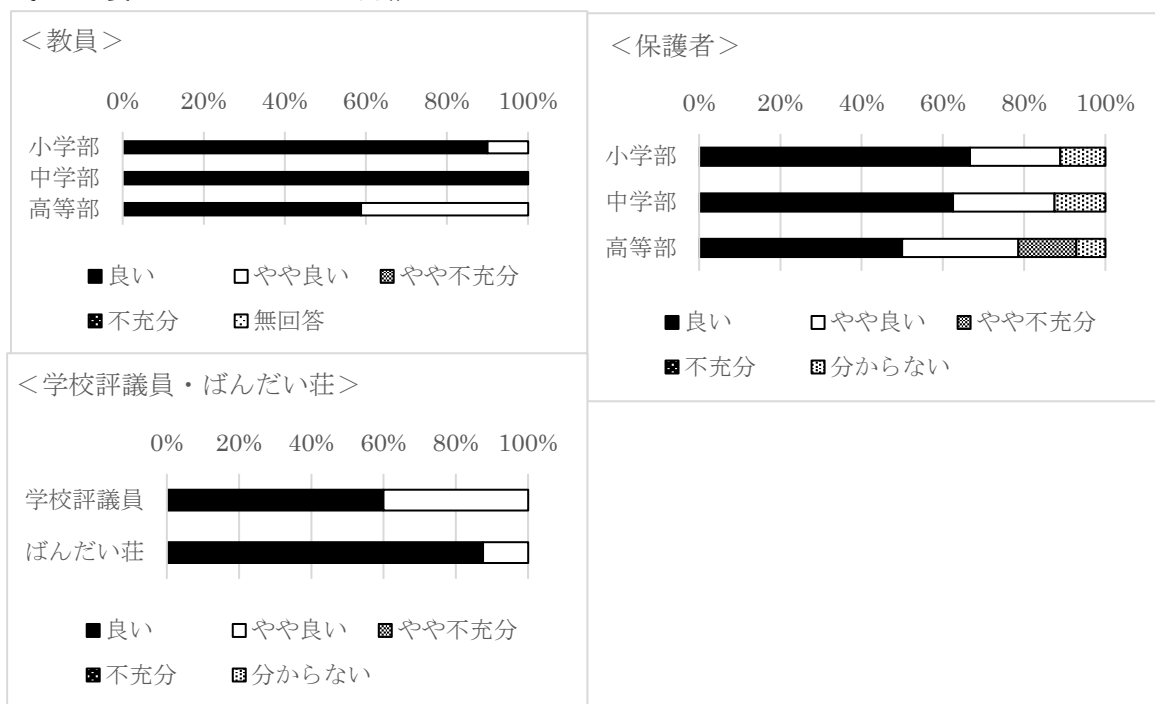
学校評議員、ばんだい荘職員は「良い」「やや良い」と回答している。教員はほぼ「良い」「やや良い」と回答しているが、小学部に「やや不十分」という評価が見られた。保護者には「不十分」「分からない」という意見があった。児童生徒が学習活動の企画・運営に挑戦することは、今年度、前年度までの指導から一歩踏み出したところであり、まだまだ十分であるとは言えない状況である。児童生徒が社会自立を目指すためにも、今後も継続して指導していく。

(4) 自ら考えて行動できる力



教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに「良い」、「やや良い」で回答しているが、小学部、中学部の保護者の中には「分からない」との回答が見られた。教員の評価は全体的に高く、自ら考えて行動できる力が児童生徒に身につけてきていると実感していることが分かる。保護者の「わからない」という回答は、実際にそのような場面を学校で見ることができていないからではないかと推測する。今後、自ら考えて行動できる場面を見ていただく機会を増やしていきたい。

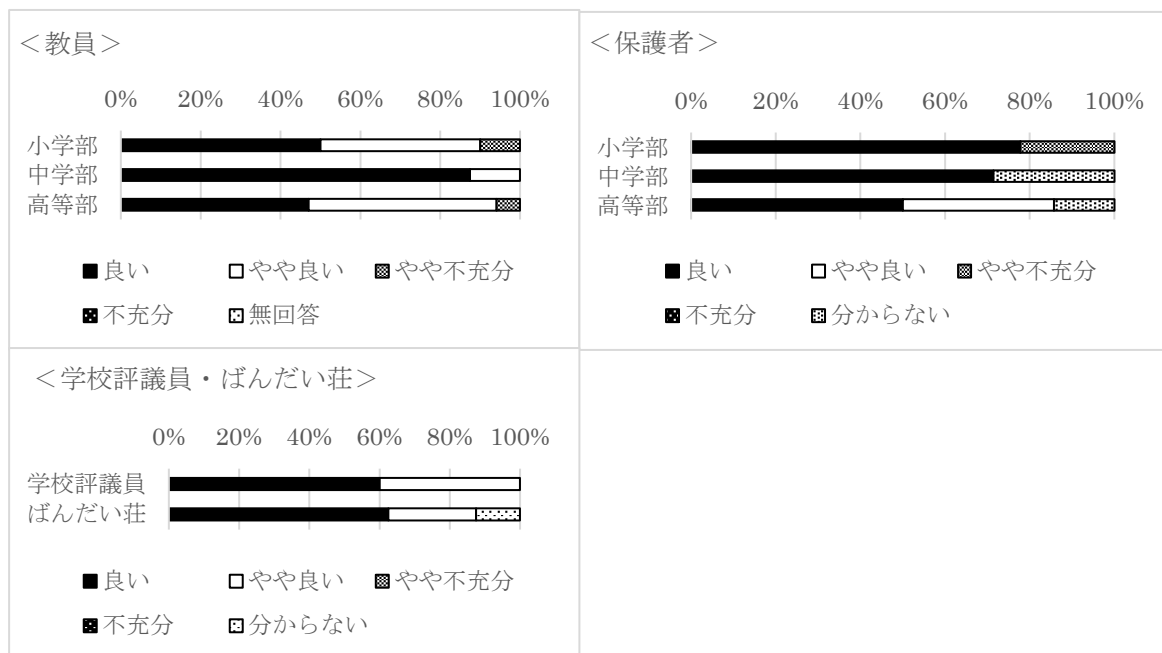
(5) 学びの姿をホームページで発信



教員、学校評議員、ばんだい荘職員は「良い」、「やや良い」と回答している。実際に、今年度は昨年度に比べて学校ホームページを更新する頻度が高くなり、概ね学びの姿をホームページで発信できたと評価できる。保護者には各学部で「分からない」、高等部で「不十分」といった

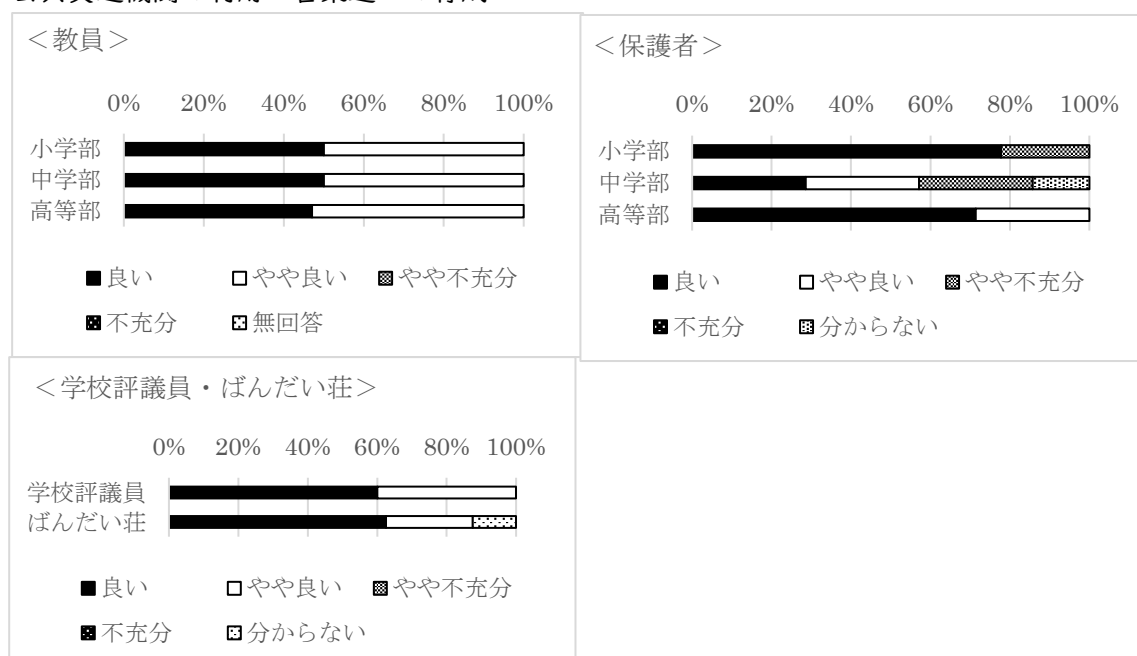
回答が見られた。「分からない」という回答については、学校ホームページで学びの様子を発信していることを知らない保護者もいると思われる。プリント等で学校ホームページについて発信する機会を増やしていく必要がある。また、「不十分」という回答については、「もう少しまめに更新してほしい。」という自由記述があった。SNS等で頻繁に発信をしている方もいる中、本校の更新頻度では物足りないと感じる方もいるのではないかと推測される。学校評議員からは、回覧板等で学校の情報について発信する必要があるという意見もいただいた。

(6) ICT の活用



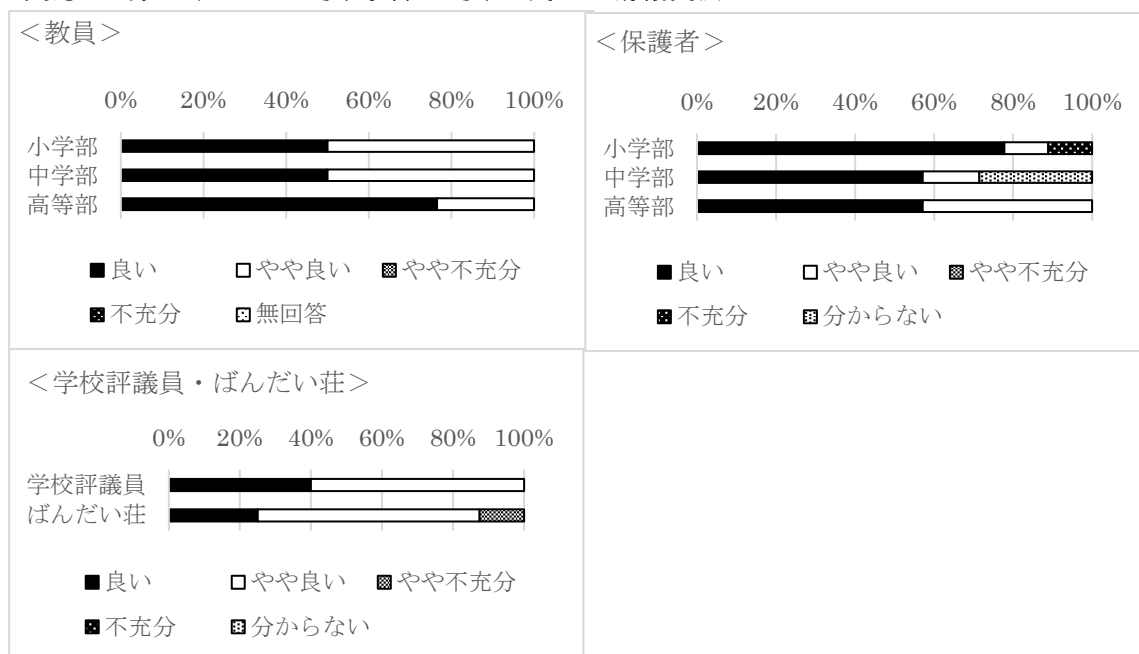
教員はほぼ「良い」「やや良い」であるが、一部「やや不十分」と回答している。保護者には「やや不十分」「分からない」との回答が見られ、学校評議員では、「良い」「やや良い」との評価であった。ばんだい荘職員においては、概ね「良い」「やや良い」という評価だったが、「分からない」という回答もあった。保護者からは、「楽しそうに活用している。」、学校評議員からは、「新しい教材の活用が見られる。」、ばんだい荘職員からは、「ICT を使うことで、できないと思われたことができるようになり、驚いた。」と肯定的な意見が出された。昨年度に比べると、保護者やばんだい荘職員で、ICT の活用をしている姿を思い描くことができていると感じる。しかし、まだ不十分であるという意見もあり、今後も ICT の活用とその様子の発信に取り組みたい。

(7) 公共交通機関の利用・言葉遣いの育成



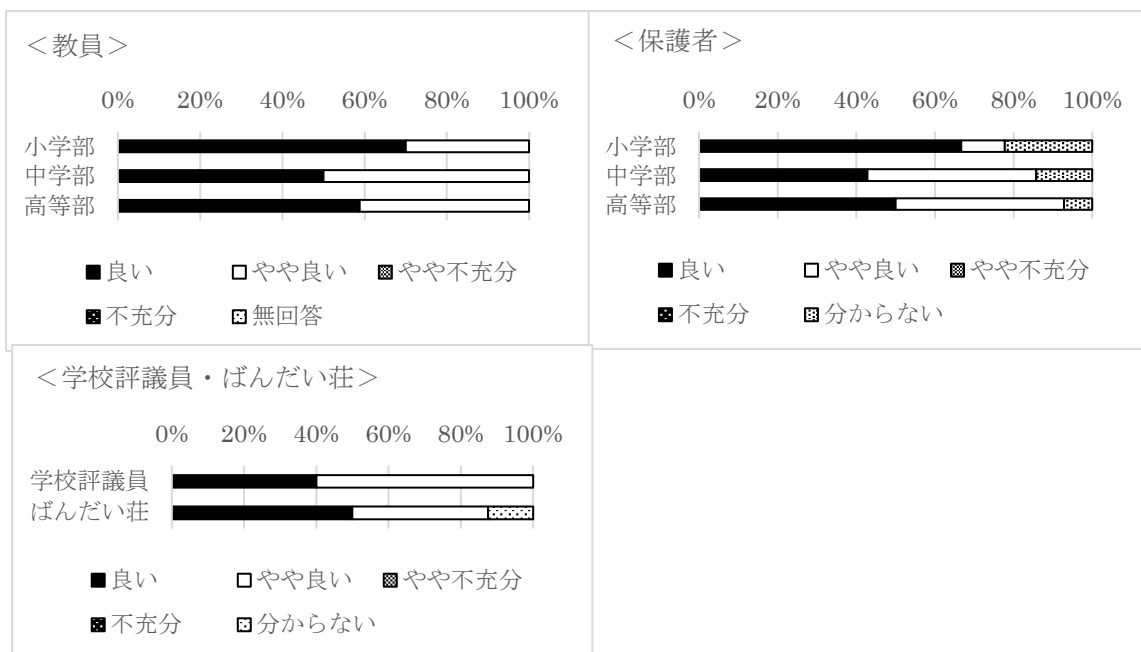
教員では、全員が「良い」「やや良い」との評価であった。保護者においては各学部において「やや不十分」「分からない」との評価があった。学校評議員においては、「良い」「やや良い」との評価であった。ばんだい荘職員においてはほぼ「良い」、「やや良い」で回答しているが、「分からない」との回答があった。保護者においては、自由記述からもコロナ禍であることで、思ったよりは公共交通機関の利用ができなかったため、「やや不十分」の評価が増えたと思われる。これは厳しい評価が増えた反面、保護者が公共交通機関の利用を期待している表れであり、保護者の意識が高まっていると思われる。しかし、昨年度に比べると、コロナ禍ではあったが、積極的に公共交通機関の利用がされていることで、教員、学校評議員、ばんだい荘職員の良い評価につながった。保護者の期待にもこたえられるよう、今後、さらに公共交通機関利用に改めて取り組んでいく必要がある。

(8) 実態や成長に合わせた進路学習と進路に関する情報提供



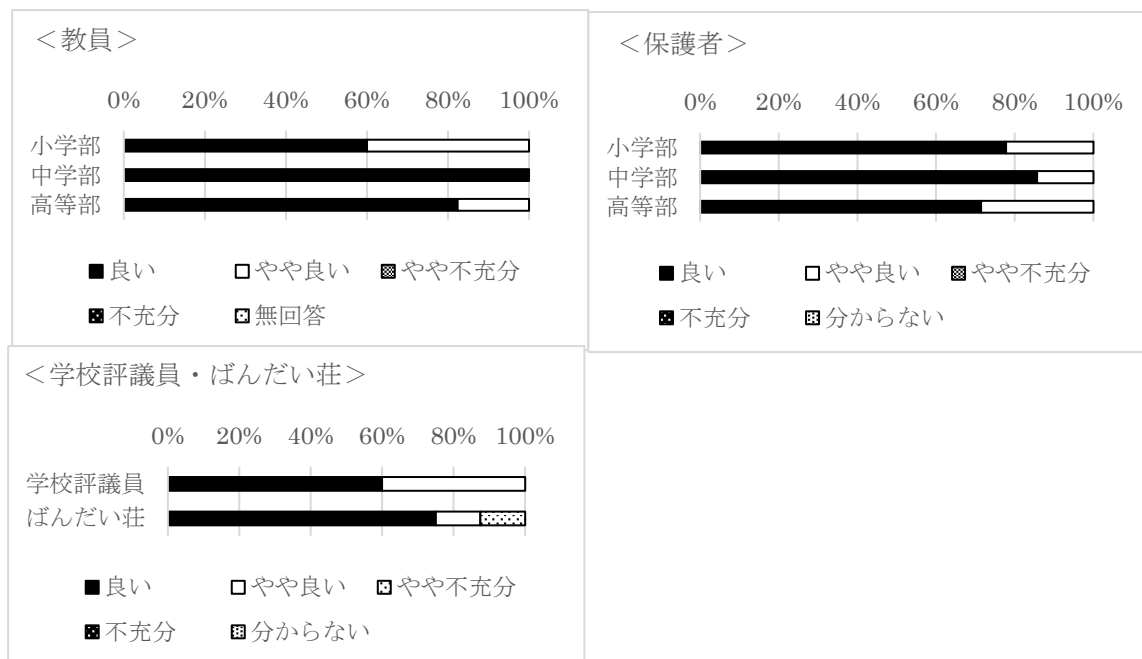
教員、学校評議員ともに「良い」、「やや良い」と回答しているが、保護者においては、小学部に「不十分」、中学部で「分からない」との回答があった。保護者においては、子供達の進路に対して不安を感じている保護者が多く、さらに早期からの進路学習の大切さを感じていることが分かった。ばんだい荘職員の中には、概ね「良い」「やや良い」との回答であったが、一部「やや不十分」との回答があった。自由記述として、「実習に出るとよい評価をとらなくてはいけない、より高い目標にしなくてはいけない。と不安を感じている生徒がいる。」という意見があり、生徒が進路に向けて葛藤しながら過ごしている様子がかげえた。学校として、安心できる環境を整えながら、進路学習を進めていく必要がある。

(9) 「自分手帳」の活用・食習慣や運動習慣・生活習慣に関心



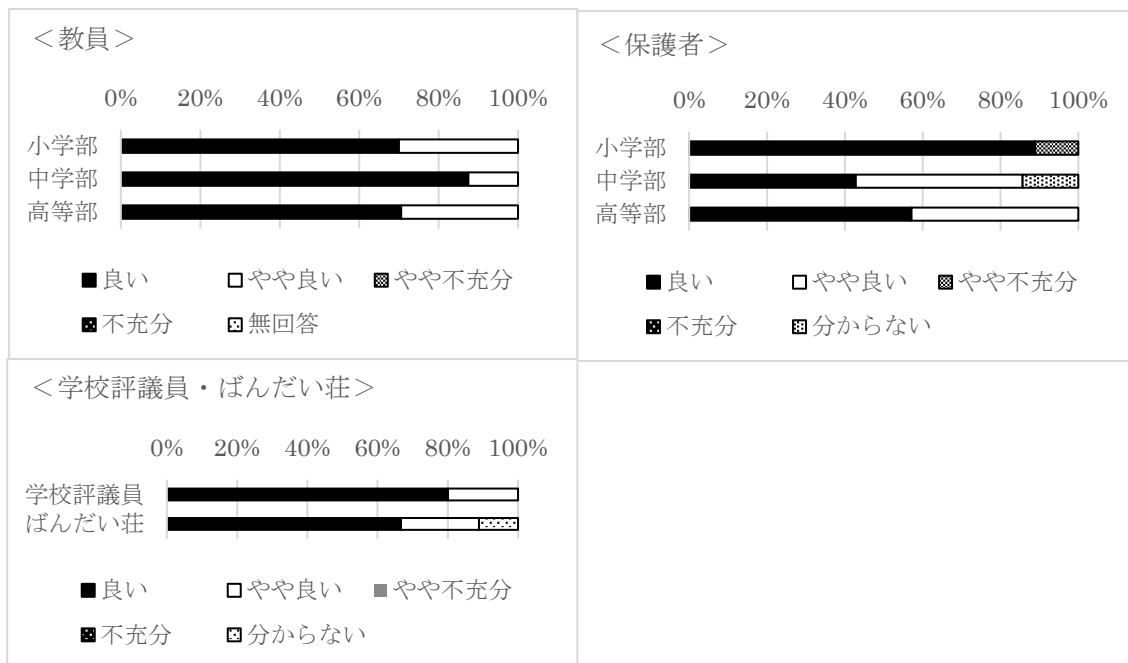
教員、学校評議員では「良い」、「やや良い」と評価している。保護者は、ほとんどが「良い」「やや良い」の評価であったが、各学部で「分からない」との回答があった。ばんだい荘職員はほぼ「良い」「やや良い」との評価であったが、一部「分からない」との回答があった。ばんだい荘職員の中には、「外部や保護者に成果をアピールできる資料があると評価しやすい。」との意見があった。教員は、普段から活用する機会が増えたため、良い評価であったが、保護者やばんだい荘職員にとっては、普段、あまり「自分手帳」に触れる機会がないため、活用状況が分からないのであると思われる。学校として、学校ホームページやお知らせ等とおして、活用状況を知らせることが必要となる。

(10) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底



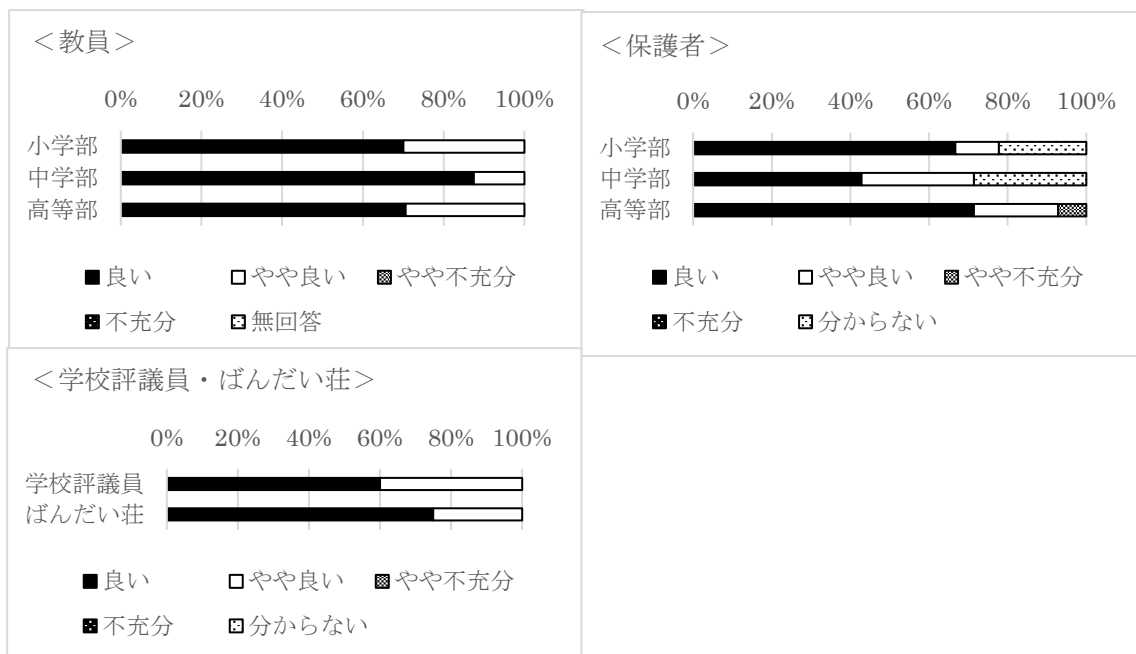
教員、学校評議員、保護者ともに全て「良い」「やや良い」の評価であった。ばんだい荘職員については、ほぼ「良い」「やや良い」の評価であったが、「やや不十分」との回答があった。「もう少し行事について計画を無理のないものにしてもらえればと思う。」という自由記述があり、ばんだい荘とさらに連携して行事計画を立てていく必要があると思われる。しかし、大方新型コロナウイルス感染症対策については、徹底されて行われていると評価されていると判断する。

(11) 「分かった。できた。」を実感できる授業づくり



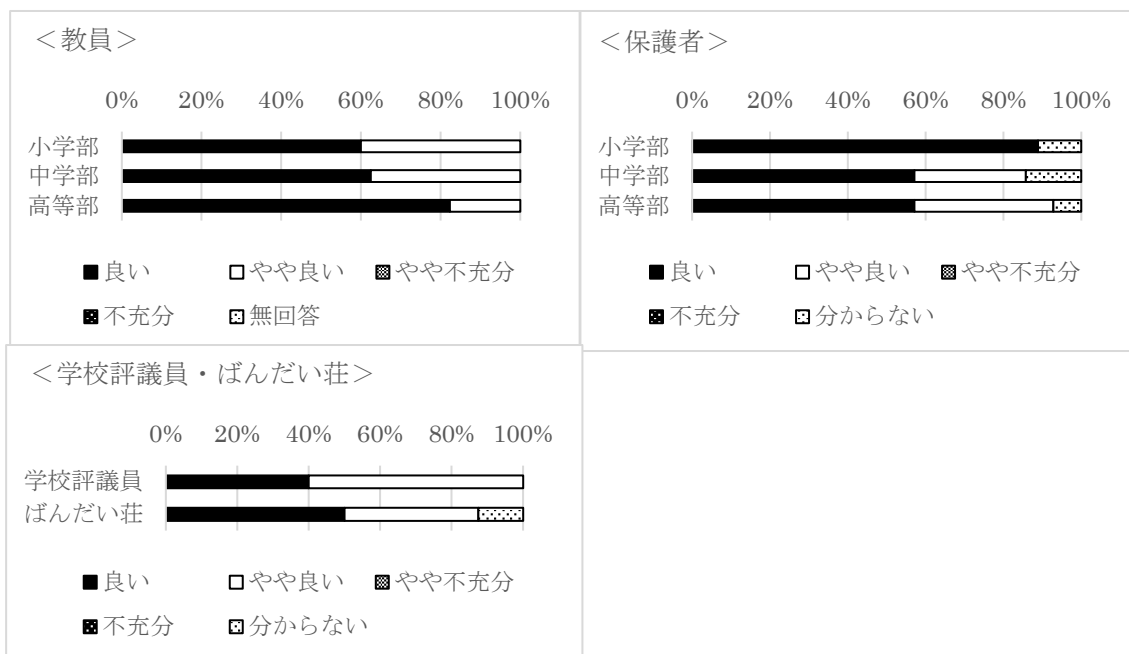
教員、学校評議員、ともに「良い」、「やや良い」で回答しており、特に「良い」と回答している割合は他の項目に比べて全般的に多い。保護者には「やや不十分」「分からない」、ばんだい荘職員には「分からない」と回答している方もいるが、概ね「良い」「やや良い」との回答が多かった。また、ばんだい荘職員からは、「丁寧なかかわりが確認できる。」との意見をいただいた。「分かった。できた。」を実感できる授業を工夫することができていると評価する。

(12) 地域の方々の理解と協力を得て、教育活動の充実



教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに全て「良い」「やや良い」の評価であった。保護者については、高等部において「やや不十分」、小・中学部で「分からない」があったが、ほぼ「良い」「やや良い」の評価であった。一昨年度より教育活動後援会が立ち上げられ、地域の方々、保護者等より支援をいただけたことにより、教材等を購入したり、教育活動への援助をしていただいたりしており、教育活動が充実したと感じられたのではないかとと思われる。保護者においては「やや不十分」「分からない」との回答が見られた。保護者からは「地域の方々の理解をもっと広げていければ。」という意見や、教員からも「地域の方々の理解と協力を得るといふ点で考えると多くある。」との意見があり、今後も、本校として、地域への啓発を十分にいき、地域の中の学校となっていく必要がある。

(13) ニーズに応じた「はあとふるタイム」や教育相談の実施



教員、学校評議員ともに「良い」、「やや良い」で回答している。保護者、ばんだい荘職員には各学部において「分からない」と回答している方もいるが、概ね「良い」「やや良い」との回答が多かった。保護者や地域のニーズに応じて「はあとふるタイム」や教育相談を実施できたと評価する。

4 アンケートの記述内容からのまとめ（別紙資料参照）

- (1) 教員アンケートの記述では、本校の課題について述べられている意見が多く、次年度の取り組みに生かしていけるよう検討していきたい。
- (2) 保護者アンケートの記述では、学校に対する感謝や満足感を表す意見が述べられていた反面、改善を求める意見もあった。特に ICT の活用、公共交通機関の利用については、さらに取り組んでほしいという意見が多かった。改善できるところは検討し、次年度の取り組みに生かせるようにしていきたい。
- (3) 学校評議員アンケートでは、学校の取り組みについて良い評価をする意見が多数述べられた。公共交通機関の利用や地域との連携などについて取り組んでいけるよう、前向きな意見が出された。
- (4) ばんだい荘職員アンケートでは、授業での ICT の活用や、個に応じた細やかな指導など、肯定的な意見があった反面、教員の発言により悩みを抱えてしまう生徒もいたという意見があった。何気ない発言や子どもにとって良かれと思っての発言が、本人にとってプレッシャーになってしまうこともあるので、今後、発言には気をつけていけるよう取り組んでいきたい。

5 中学部・高等部生徒のアンケート結果

< 中学部アンケート集計結果 >

No.	質問事項	はい	いいえ	わからない
1	学校生活は楽しいですか。	12	0	0
2	相手の話しかけに返事することができていますか。	11	1	0
3	自分からいろいろなことに挑戦していますか。	10	1	1
4	先生や友達に自分の思いや考えを伝えたり、困ったとき、悩んだときには先生に相談したりしていますか。	8	2	2
5	学校の友達と仲良くしていますか。	12	0	0
6	授業はわかりやすいですか。	11	0	1
7	授業でわからないことがあれば、先生に質問していますか。	10	1	1
8	学校の決まりや約束を守りながら生活していますか。	11	0	1
9	学級の係や委員会での自分の役割をしっかりと行っていますか。	10	1	1
10	自分の進路(卒業してからのこと)について、しっかりと学習していますか。	10	0	2
11	健康や安全に気をつけて生活していますか。	10	1	1
<p>○ よい学校にするための意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業や勉強をがんばる。 ・全校朝の会とか、おはなしが多い(情報量が多い)。 				

< 高等部アンケート集計結果 >

No.	質問事項	はい	いいえ	わからない
1	学校生活は楽しいですか。	15	0	0
2	相手の話しかけに返事することができていますか。	15	0	0
3	自分からいろいろなことに挑戦していますか。	14	0	1
4	先生や友達に自分の思いや考えを伝えたり、困ったとき、悩んだときには先生に相談したりしていますか。	11	3	1
5	学校の友達と仲良くしていますか。	15	0	0
6	授業はわかりやすいですか。	14	0	1
7	授業でわからないことがあれば、先生に質問していますか。	14	1	0
8	学校の決まりや約束を守りながら生活していますか。	15	0	0
9	学級の係や委員会での自分の役割をしっかりと行っていますか。	15	0	0
10	自分の進路(卒業してからのこと)について、しっかりと学習していますか。	14	0	1
11	健康や安全に気をつけて生活していますか。	15	0	0
<p>○ よい学校にするための意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科のときに漢字が多いので、分からない漢字は振り仮名を書いてほしいです。 ・友達にやさしくしてあげたいです。 ・元気にあいさつをします。 ・先生の話をよく聞く学校にする。 ・手洗い・うがい・消毒をしっかりとる。 ・3食しっかり食べる。 ・十分な睡眠をとる。 				

「いいえ」「わからない」の回答がある項目がある。特に No.4「先生や友達に自分の思いや考えを伝えたり、困ったとき、悩んだときには先生に相談したりしていますか。」の項目では、中学部・高等部ともに「いいえ」「わからない」の回答が多くなっている。それぞれの生徒が自分なりに困っていること、悩んでいることを抱えているが、なかなか**自分の思いや考えを伝えたり、悩みを相談したりすることについては難しいと感じている生徒がいることが分かる。**

また、「よい学校にするための意見」では、中学部より「全校朝の会とか、おはなしが多い（情報量が多い）。」、高等部より「理科のときに漢字が多いので、分からない漢字は振り仮名を書いてほしいです。」など、教員が環境を整えることで、解消できることが述べられていた。今後、児童生徒にとって分かりやすい、シンプルなたらきかけをできるように、教員間で共通理解を行いたい。その他に、**積極的に良い学校にしようとする意見、授業や自分の目標への取り組みに関する意見**が出された。

※資料

教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員アンケート記述内容

<教員>

1 <満足感・期待感をもって学ぶことができる学校>

○校外活動や地域とつながる活動を充実させたい。

●実態に合った教育課程が必要。

2 <相手に伝わる返事のできる児童生徒>

●あいさつ面が少なくなった。周知して広げたい。

5 <学びの姿をホームページで発信>

●保護者も普段から見たいと思えるようにできたらよいと思います。

●ホームページでの発信は、昨年に比べ飛躍的に伸びたが、地域、保護者にはあまり知られていないことがある。折に触れ、発信していることを周知することが必要だと感じた。

6 <ICTの活用>

○ICTの活用については、自分がイメージしていたアプリはほとんどが存在し、イメージ以上の活用ができることが分かった。周囲に相談しながら効果的に活用していきたい。

●貸与されているタブレット端末の制限が多く、指導に使いにくい。

1 2 <地域の方々の理解と協力を得て、教育活動の充実>

●地域の方々の理解と協力得るという点で、考えるところは多くある。範囲や内容もどのくらい OKなのか、コロナ禍での状況もあり、中止の可能性を考えると先生方も企画しにくいと思う。過去は、いなっ子まつりで外部交流なども行っていた。

<意見欄>

○感染症対策もある中、できる限り児童生徒の学びの場を失わないよう、先生方が協力して取り組んでいることがとても良いと感じた。

●会議の精選として、学期末の全体反省会をなくしてはどうか。各部で反省をまとめ、回覧等で十分かと思う。

<保護者>

1 <楽しく登校できる学校>

○いろいろな先生のお気遣いのおかげで楽しく通学させていただいています。(中)

○疲れて帰ってくることもありますが、毎日楽しそうに通学しています。(高)

●クラスの雰囲気にもストレスを感じているようなので、配慮していただきたいです。(中)

2 <相手に伝わる返事のできる児童生徒>

○どんなときも真しに向き合ってください、受け止めていただいていますので、子どもなりに対応できていると思います。(中)

5 <学びの姿をホームページで発信>

- もう少しまめに更新してほしいです。(高)
- もっと発信回数を増やしてほしい。

6 <ICTの活用>

- 授業参観などで楽しそうに活用していると思います。(高)
- 低学年の児童にも活用できる時間があれば評価もあがると思います。(小)

7 <公共交通機関の利用・言葉遣いの育成>

- もう少し公共交通機関を利用した活動が増えると良いと思います。(中)
- コロナ禍なので仕方ないですが、JR→バスの乗り換えなどもう少し利用する機会がほしいです。(高)

12 <地域の方々の理解と協力を得て、教育活動の充実>

- 地域の方々の理解をもっと広げていければよい。(高)

13 <はあとふるタイムや校外の教育相談の充実>

- はあとふるタイムの2回目の日にちが行事の多い月に入れなくてほしいです。仕事している者としては休みが取れないので困ります。(中)

<意見欄>

- 小学部ならではの個々にあった指導をしていただいていることに対してとても評価できると思います。今後もよろしく願いいたします。(小)
- 子どもは学校が好きで、大変ありがたいと思っております。最近親に反抗するようになりまして、「学校」や「先生」や「友達」で社会のマナーや人とのコミュニケーション、時計を読んだり、字を書こうとしたりすることを教えていただけたらと思います。(中)
- 重度の子に対しての授業に最大限お気遣いをいただいて、感謝しております。今後も子どもたちにとって良い環境で授業ができるように願っています。(中)
- 11月からの転入のため、評価することが難しい。(中)
- 先生方がとても熱心に細やかに指導や様子を見て下さってとてもありがたいです。(高)
- 先生同士、生徒と先生も仲良しなのが行事やお迎えの時に分かり、とても心が温かくなります。(高)
- この学校に通わせて本当に良かったと思っています。ありがとうございます。(高)
- 年々、生徒の人数も減り、通学生よりばんだい荘生の方が多くなる傾向の中、PTA活動が難しくなっています。一部の保護者に負担がかかり、このまま維持運営できるのか存続していく意味があるのか疑問に思っています。廃止ややめる決断もありなのではないかと思えます。(中)
- 同じクラスの子だから仲良しにならなくてはいけないではなく、特性や子どものレベルにも配慮して対応していただきたいと願っています。(中)
- 中学部から校外実習を行うことはできないでしょうか。2週間は無理でも最初(前期)は2日、後期は3~4日と1年時から増やしていけば、高等部に進級時にはしっかり力がついて行くのではないかと思います。(高)

<学校評議員>

1 <楽しく登校できる学校>

- 授業参観では笑顔が見られたり、一生懸命励んでいる姿が拝見できましたので良かったと思います。
- 登校・自由時間の様子が観察しにくい。

2 <相手に伝わる返事のできる児童生徒>

- 授業での問いかけを待つなど余裕が見られる。

3 <学習活動の企画・運営に挑戦する態度>

- 行事や校外での活動が多く見られる。

4 <自ら考えて行動できる力>

- 教職員の話し合いも複数担任であることから、いろいろな考えの中で取り組まれていると考える。

5 <学びの姿をホームページで発信>

○活動や生活内容が伝わりやすい。

6 <ICT の活用>

○新しい教材の活用が見られる。

●学年が上になると活用していることが分かりましたが、小学部ももう少し効果的に使えると良いのかなと思いました。

7 <公共交通機関の利用・言葉遣いの育成>

○交通（電車）での体験学習は社会生活に生かされると感じられよい。

●コロナ禍の中で制限されてしまっているのが難しいですが、もう少し公共機関を用いた活動ができれば良いと思います。

8 <実態や成長に合わせた進路学習と進路に関する情報提供>

○地域・学校交流を重ね、情報交換や活用できる公共機関の連携が多くなることを期待する。

9 <「自分手帳」の活用・食習慣や運動習慣・生活習慣に関心>

●外部や保護者に成果をアピールできる資料があると評価しやすい。

10 <新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底>

○具体的な対策は、玄関でのチェック、室内での消毒マスク等を確認できる。

○子どもの感染が広がっている中、学校での感染がないのは、実施している何よりの結果だと思えます。

11 <「分かった。できた。」を実感できる授業づくり>

○ていねいな関わり合いが確認できる。

12 <地域の方々の理解と協力を得て、教育活動の充実>

○学校だより、ホームページでの情報伝達がある。翁島地区の回覧板でお知らせができるのとよりよいと感じる。

13 <はあとふるタイムや校外の教育相談の充実>

○町内の教育機関（学校）との連記絵の中で相談しやすい体制が作られている。

●はあとふるタイムの参加が少ないようなので、行う日にちの検討をお願いしたいです。

<意見欄>

○一人一人が成長できる環境作りを一人一人の先生方のおかげで成り立っていることにとても感謝しております。今後も子どもたちのために保護者の皆さんや地域の皆様並びに講演会に御理解を示していただける方々とともに協力し合っていけるのが何よりだと思います。

○各項目に対し積極的に取り組んでいることが理解できます。子どもたちの進路指導については、難しいことではあるが、自立して生活できるような指導が必要と考えます。また、最近のキャッシュレス時代に合わせ、電子マネーの教育も行ってほしいと思います。

○コロナ禍の中での活動が少しずつ工夫の中で実施されていることがあり、生徒の喜びや楽しい体験になっているようで良かったと感じる。

○校舎内の工事により生活しやすい明るい環境になったのは良かったと感じる。

<ばんだい荘>

ばんだい荘職員記述意見

1 <楽しく登校できる学校>

●高等部生で、教師より思いがけない声を掛けられショックを受けた方がいます。発言には注意していただきたいと思えます。

●楽しく行っている方が大半だが、中には不安や悩みをもって行っている方もいる。

●楽しく毎日通っている子と、先生との関係や発言に悩んでいる子がいる。

3 <学習活動の企画・運営に挑戦する態度>

○修学旅行のパンフレットづくりなど自分たちで作ったと知り、驚きました。それぞれが挑戦をしていると日々感じています。

6 <ICT の活用>

○授業での活用は素晴らしいと感じています。ICT を使うことでできないと思われたことができてお

り、驚きました。

7 <公共交通機関の利用・言葉遣いの育成>

○施設が行えないことを細やかに行っていたでおり、成長を感じます。

8 <実態や成長に合わせた進路学習と進路に関する情報提供>

●実習に出ると良い評価をとらなくてはいけない、より高い目標にしなくてはならないと先生の発言から不安を感じてしまっている子がいる。

10 <新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底>

●with コロナで社会生活を維持していくことは大切だと思うが、もう少し行事について計画を無理のないものにしてもらえればと思う。

<意見欄>

○個別に様々な点で対応していただけていると感じています。

○いつもお世話になっております。また、日頃より様々な場面でご協力いただき、ありがとうございます。

○いつも優しく見守ってゆっくり学習を進めて下さってありがとうございます。あの子の今があるのは先生方のおかげです。よろしくお願ひします。

○年度初めではなく、途中から登校する児童生徒の対応について、学校での方針的なものがあるのでしょうか。